

火災等 対応マニュアル

成城大学

目次

緊急時対応について P. 1

安否確認シートの記入について
緊急時・避難時の基本行動
いざというときにあわてないために

火災を発見したら P. 3

1. 火災を知らせる 「火事だ! 火事だ!」と大声で叫ぶ。
2. 火を消す 状況把握し、初期消火・通報する。
3. 避難する 避難先は第1グラウンド

緊急放送が流れたら P. 5

1. 正確な情報を得る まず、止まって、黙って、聞く。
2. 指示に従って行動する
緊急事態の現場が、自分のいる建物だった場合
3. 安否を知らせる

初期消火 P. 7

1. 消火器の使い方
2. 消火栓の使い方

119番通報 P. 8

1. 通報する 通報するときの注意
2. 消防に繋がったら
問いかけに、あわてず、早く、正確に、答える。

大学への連絡(学内から通報した場合) P. 9

「119番通報」したことを連絡

成城大学 緊急災害時避難経路図 P. 10

P.1に安否確認シートのサンプルがあります。緊急時には必ずこの記入例にそって記入し、提出してください。

緊急時ハンドブック



2023.4.刊

成城大学

〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20

URL : <https://www.seijo.ac.jp>

学内緊急時の連絡先について

※ 学内で、火災を発見した場合、救急車・消防車を要請する(した)場合の連絡先

学園案内所(正門) 03-3482-1452

📞救急車・消防車を火災・事故現場に速やかに誘導するために、必ず上記に連絡してください。

緊急時対応について

安否確認シートの記入について

災害等発生時に、学内にいる学生諸君の身の安全の確認方法の一つとして、安否確認シートを配付します。

まず、印のある項目を記入し、教職員の指示に従って、速やかに提出してください。

1 該当する所属の記号を○で囲む。

経	文	法	社	共通	非常勤	所属部署	その他	経	文	法	社	経	文	法	社
教員						職員等		大学院				学部			

■教職員の指示に従って、太枠の中のみ速やかに記入し、提出してください。

学籍番号	X	X	E	X	X	X	性別	男
ふりがな	せいじょう たろう							
氏名	成城太郎							
記入年月日	2023年		X	月	X	日		
記入場所	第1グラウンド							

欄に必要事項を記入する。

↓名字の頭文字の該当行を○で囲む(すずき→さ行)

あ行
か行
さ行
た行
な行
は行
ま行
や行
ら行
わ行

例・すずき→さ行

個人情報取扱について確認する。

帰宅困難時に使用する欄です。

大地震等災害発生時の記録欄	
移動先情報(予定)	<input type="checkbox"/> 自宅(実家) 続柄:) <input type="checkbox"/> 親類(氏名)) <input type="checkbox"/> その他(詳細:)
上記の住所電話番号等	
避難経路(予定)	成城大学 ~
出発日	年 月 日 / 時 分 本人記入
備考	
※避難(移動)途中で、危険を感じた場合は、迷わず大学に戻ってくること。	
安否照会情報伝言メモ欄	
照会日	月 日 / 時 分 伝言
照会者氏名	
連絡完了日	月 日 / 時 分
照会日	月 日 / 時 分 伝言
照会者氏名	
連絡完了日	月 日 / 時 分
照会日	月 日 / 時 分 伝言
照会者氏名	
連絡完了日	月 日 / 時 分
↑移動する本人から、家族への伝言がある場合もこの欄を利用してください。	
【管理者欄】	学内避難先

緊急時・避難時の基本行動

何よりもあわてないこと。冷静に状況判断し、教職員の指示に従いながら、協力して行動するようにしてください。

- 1 冷静に状況判断し、行動する** →教職員・緊急放送の指示に従う。
- 2 避難先は、第1グラウンド** →教職員から、別の避難場所の指示があった場合は、それに従う。
- 3 エレベーターは使わず、階段を使用する**
 - エレベーターは、閉じこめられたり、炎の通路になる場合があるので危険。
- 4 閉まりかけている防火シャッターは、絶対にくぐらない**
 - 防火扉や防火シャッターが作動しても、閉じこめられるわけではないので、あわてずに防火扉に設置してあるくぐり扉から避難する。
- 5 大学中庭付近には、なるべく立ち入らないこと**
 - 災害等発生時には正門から中庭は緊急車両の進入経路となり、西門には消防取水口があるため、消火活動の妨げにならないようにする。
- 6 火災の起きている建物の中へは戻らない**
 - 一度避難したら、火災のおきた施設・建物へは危険なので絶対に戻らないこと。
- 7 逃げ遅れた人がいるときは、すぐに知らせる**
 - 避難の際逃げ遅れた人がいるときは、即ちに近くにいる消防隊員や教職員にその旨を知らせること。

いざというときにあわてないために

確認しておきましょう

日常生活の中で、確認しておくことは…

- ☑ どこが避難経路になっているのか、
- ☑ どこに消火器があり、
- ☑ どこに消火栓があるのか、
- ☑ どこにAEDがあり、
- ☑ どこに、だれに、助けを求めたらよいか、

覚えておきましょう

学内緊急時の連絡先について

※ 学内で、火災を発見した場合、救急車・消防車を要請する(した)場合の連絡先

学園案内所〈正門〉

03-3482-1452

●救急車・消防車を火災・事故現場に速やかに誘導するために、必ず上記に連絡してください。

←避難経路→

火災を発見したら

自分(たち)の生命・安全を第一に行動する。
冷静に行動する。
声を掛け合い、助け合いながら、対応(消火・避難)する。

1 火災を知らせる

「火事だ!火事だ!」と大声で叫ぶ。

1 近くの事務室に知らせる。

※ 発見した時点で、退避せざるを得ない場合は、「火事だ!」と大声で知らせながら避難する。

2 避難を開始する。(詳細はP. 4参照)

■ 避難のポイント

- 手に負えないと感じたとき
- 天井に炎が届きそうなき
- 煙で、火元が見えないとき
→口と鼻を、ハンカチなどでふさぎ、低い姿勢で避難。

3 同じ階にある消火栓の、
火災報知器のボタンを押す。
(無理はしない)

● 館内に非常放送(非常ベル)が流れ、
火災を知らせることができる。

2 火を消す

状況把握し、初期消火・通報する

以下のことを、分担しながら行う。

- 常に退路と、避難するタイミングを考慮して行動する。
- 教職員が駆けつけたら、教職員の指示に従い、協力して行動する。

ア 火を消せると判断したら、
初期消火を行う。
ただし絶対に無理はしないこと。



初期消火
(詳細はP. 7参照)

- 1 消火器の使い方
- 2 消火栓の使い方

※ 炎が天井に達してしまったり、すぐに火が
消えなかったり、煙の勢いが強くなつたら、
消火活動をやめてすぐに避難する。



避難する
(詳細はP. 4参照)

イ 原則として、教職員が通報する



119番通報
(詳細はP. 8参照)

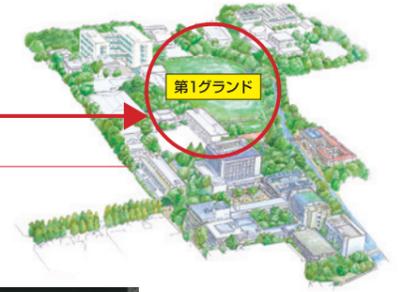
ウ 状況の確認・観察をする。
無理をせずできる範囲でよい。

■ 確認・観察のポイント

- 何が燃えているか?
- どこが燃えているか?
- 逃げ遅れている人はいないか?
- ケガ人の有無?

3 避難する

避難先は第1グラウンド



1 教職員・緊急放送の指示に従う。

2 誘導灯・誘導標識を確認する。



3 冷静に行動し、避難口へ向かう。

■ 避難の際の留意点

- お 押さない
- か 駆けない
- し しゃべらない
- も 戻らない

避難のポイント

火元が近い場合(火災発見者)

- 火元と反対方向に、避難する。
- 「火事だ!」と大声で知らせながら避難する。
- 下の階へ避難することが基本。
- 燃えている部屋のドアを閉めて、避難する。
(可能であれば←無理はしない)

※ 炎に囲まれてしまったら、
躊躇せず出口に向かって一気に走り抜ける。



煙が発生している場合

- 煙を吸わないように、ハンカチや衣服で鼻や口をおおう。
- 中腰など、低い姿勢で移動する。
● 煙は部屋の上から溜まっていくので、
腰高あたりの、煙が薄く視界や空気が残っているところを進む。
- 煙で視界が利かない場合は、
床や壁に手を当て方向を確認しながら避難する。

※ 煙が立ちこめていて、呼吸が苦しい場合は、床と壁の立ち上がり、
階段の角などに新鮮な空気が残っていることがあるので、その空気を吸いながら避難する。



建物から出る場合

- エレベーターは使わず、階段を使用する。
● エレベーターは、閉じこめられたり、炎の通路になる場合があるので危険。
- 階段の踊り場や廊下の曲がり角では止まらない。
● スムーズな避難の支障となる。
- 中庭・正門・西門付近を、なるべく避けて、避難する。
● 消火活動や緊急車両進入の妨げとならないため。

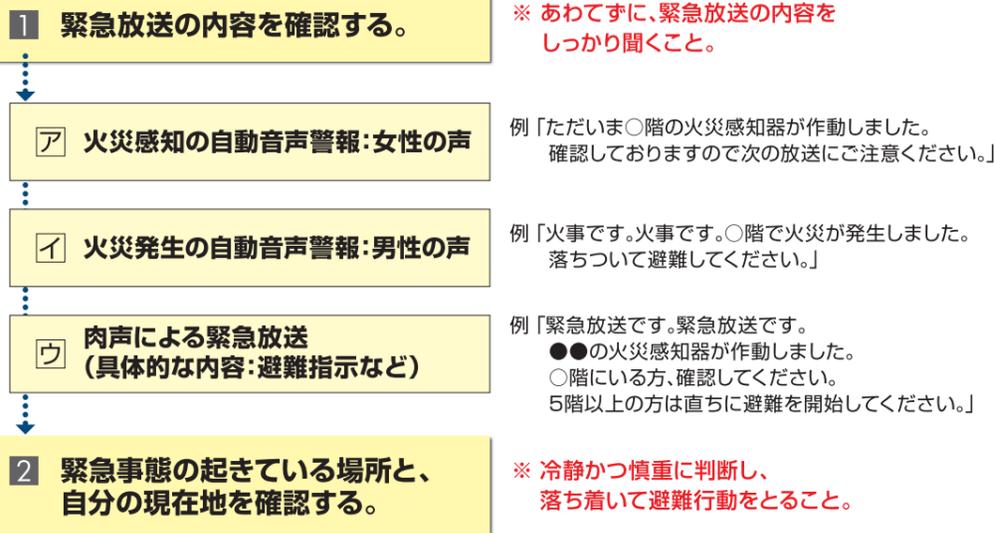
※ 教職員が誰もいない場合は、建物を出た後、すぐに正門にある学園案内所に連絡する。

緊急放送が流れたら

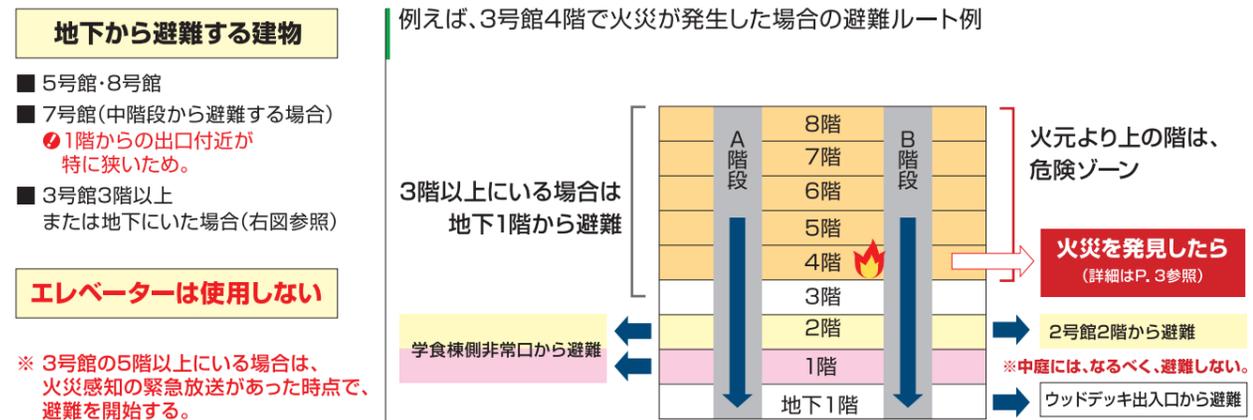
あわてない。
教職員の指示に従って行動する。

1 正確な情報を得る

まず、止まって、黙って、聞く。



避難ルートの例



- 「火災感知」「火災発生」の自動音声警報が流れる場所 → 1号館、2号館、3号館、5号館、7号館、8号館、9号館、文連クラブハウス、トレーニングセンター、澤柳記念講堂
- 自動火災報知器のベル（警報音）が鳴る場所 → 4号館、図書館、第1体育館、大学食堂棟

指示に従って行動する

緊急事態の現場が、自分のいる建物だった場合



避難のポイント

「火災感知」の自動音声警報が流れた場合

- ※ 1号館、2号館、3号館、5号館、7号館、8号館、9号館、文連クラブハウス、トレーニングセンター、澤柳記念講堂
- 何階で、「感知」したかを、しっかり聞く。
- 騒がず、静かに、次の放送を聞き逃さないよう待つ。
- いつでも避難できるように準備する。
- ※ 3号館の5階以上にいる場合は、火災感知の緊急放送があった時点で、避難を開始する。
- 避難準備のポイント
 - 足下の確認…靴をちゃんと履く。
 - 第1グラウンドまでの避難経路を、シミュレーションしておく。
 - 荷物を、コンパクトにまとめておく。

「火災発生」の自動音声警報が流れた場合

- ※ 1号館、2号館、3号館、5号館、7号館、8号館、9号館、文連クラブハウス、トレーニングセンター、澤柳記念講堂
- 何階で、「火災」が起きているかを、しっかり聞く。
- 速やかに避難を開始する。
- ➡ 避難する（詳細はP. 4参照）

「自動火災報知器」のベル（以下「自火報ベル」）が鳴った場合

- ※ 4号館、図書館、第1体育館、大学食堂棟
- 付近に異常がないかを観察しつつ、いつでも避難できるように準備する。
- 教職員・緊急放送の指示に従う。
- 2分たっても緊急放送等がない場合は、速やかに避難を開始する。
- ➡ 避難する（詳細はP. 4参照）
- 避難準備のポイント
 - 足下の確認…靴をちゃんと履く。
 - 第1グラウンドまでの避難経路を、シミュレーションしておく。
 - 荷物を、コンパクトにまとめておく。

エレベーターの中にいたときに、【自動音声警報】【自火報ベル】が流れた場合

- ア 自動音声警報
 - 何階で、「感知」したかを、しっかり聞く。
 - 「感知」した階より上にいる場合
上昇中 → すぐに直近の階で降り、避難する。（各階のボタンを全部押す）
下降中 → 「感知」した階のひとつ下の階で降りて、避難する。
 - 「感知」した階より下にいる場合
→ すぐに直近の階で降り、避難する。（各階のボタンを全部押す）
 - イ 自火報ベル
 - 直近の階で降り、避難する。
 - ※ 緊急放送で、「感知」した階が知らされた場合は、【自動音声警報】と同様。
- ※ 図書館

安否を知らせる

別の建物にいた場合：外に出ないで指示があるまで待機

外にいた場合：近くの別の建物に入り、指示があるまで待機

避難先の第1グラウンドについたら

《安否確認》
安否確認シートが配付されたら、必要事項を記入して提出する。
※（表紙の裏参照）

初期消火

消火活動をしている自分たちの安全が最優先。
危険な場合は、声を掛け合い、速やかに避難する。

1 消火器の使い方

1 安全ピンを引き抜く。

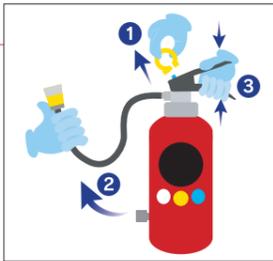
→リング部に指を入れると簡単に引き抜ける。

2 ホースを外し、ノズル(先端部分)をしっかり持って火元に向ける。

→煙ではなく、火元を狙う。
※放射しながら、徐々に近づく。
→避難方向を背にする。(退路確認)
●煙や消火器の消火剤で視界不良になり、退路を見失うことがあるから。
※屋外で使用する場合は、風上から使用する。
→低い姿勢で行う。
●煙や炎から身を守るため。(煙の層は、上側にできる)

3 レバーを強く握って放射する。

→レバーが固い場合は、消火器を地面に置き、上から体重をかけるように握る。



	放射時間	放射距離
粉末(ABC)消火器	15秒前後で空になる	3~5m
強化液(中性)消火器	30秒前後で空になる	

2 消火栓の使い方

	3号館・8号館設置消火栓 ～易操作性1号消火栓～ 1人でも操作できる。	その他の号館等設置消火栓 ～1号消火栓～ 2人1組で協力して消火活動を行う。
1	共通：消火栓の、火災報知器のボタンを押し、館内に火災を知らせる。 →ボタンを押すことで、消火栓が起動。	
2	消火栓箱の扉を開け、ノズルを取り出す。 	消火栓箱の扉を開け、1人(A)がホースのノズルを持ち、ホースの束を全て引き出す。 →近くても全部引き出す。 →2人で協力して素早く行動。 
3	消火栓箱内のバルブを開ける。 →反時計方向(左)に回す。 →バルブは全開にする。	1人(A)が、ノズルを持ち、火元に向かう。 →ホースがねじれたり折れたりしないように、気をつける。
4	ノズルを持ち、火元に向かう。 	ノズルを火元に向け、しっかり持ったら消火栓箱のところにいるもう1人(B)に合図する。 →水圧が強いのでしっかり腰を据えて持つ。
5	放水する。 →ノズルの先端(外筒)を反時計方向(左)に回すと放水できる。 →直射(棒状)・噴霧状態を無段階に調整できる。 	合図を受けたもう1人(B)が、消火栓箱のバルブを開ける。 →ホースがねじれたり折れたりすると、圧力が足りなくなるので気をつける。 

119番通報

安全な場所から通報する。
通報することを躊躇しない。

1 通報する

通報するときの注意

1 ゆっくり確実に「1」「1」「9」をプッシュする。

ア 携帯電話から通報する場合

→番号をプッシュして電話をかけるやり方は、機種によって異なるので、いざというときのために、自分の携帯電話のかけ方を確認しておく。
※携帯電話から通報した場合は、折り返し消防隊から電話がかかってくることもあるので、電源を切らないでおく。

イ 公衆電話(正門の所に1台ある)から通報する場合

→受話器を取り、そのまま「1」「1」「9」とプッシュする。
※お金・テレホンカード等は必要ない。(お金を入れても繋がる)

ウ 大学(学園)事務室等の備え付けの電話から通報する場合

→最初に、「0」をプッシュする。ツーという発音音を聞いてから、「1」「1」「9」をプッシュする。

2 ケガ人がいる場合は、その状況も伝える。

2 消防に繋がったら

問いかけに、あわてず、早く、正確に、答える。

火 災	
東京消防庁の問いかけ	通報者の通報内容
消防庁、火事ですか？ 救急ですか？	▶ 火事です。
何区、何町ですか？ 何丁目、何番、何号ですか？	▶ 世田谷区 成城 6丁目 1番 20号 成城大学です。
何が燃えていますか？	▶ ○号館○階の○○が燃えています。 ※正確に、建物の名前を伝える。
ケガ人や逃げ遅れはいますか？	▶ 状況を説明：わからないときは、わからないという。
よろしければあなたのお名前と電話番号を教えてください。	▶ 私の名前は、○○○○です。 ▶ 電話番号は、○○○-○○○○-○○○○ ※非通知発信の場合は、電話番号を尋ねられる場合がある。
はい、判りました。	

※氏名・役職(学生)・連絡先などを聞かれる場合もあるので、想定しておく。

大学への連絡(学内から通報した場合)

「119番通報」したことを下記へ連絡

学園案内所(正門): 03-3482-1452

※救急車・消防車を火災・事故現場に速やかに誘導するために、必ず連絡してください。

救急車を要請する場合

救 急	
東京消防庁の問いかけ	▶ 通報者の通報内容
消防庁、火事ですか? 救急ですか?	▶ 救急です。
何区、何町ですか? 何丁目、何番、何号ですか?	▶ 世田谷区 成城 6丁目 1番 20号 成城大学です。
どうしましたか?	▶ 交通事故です。 ※「はさまれている」「意識がない」等、 できるだけ内容を具体的に伝える。
よろしければあなたのお名前と 電話番号を教えてください。	▶ 私の名前は、〇〇〇〇です。 ▶ 電話番号は、〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
はい、判りました。	※非通知発信の場合は、電話番号を尋ねられる場合がある。

※学内の場合は、大学保健室または学生部に助けを求める。

- 大学保健室 : 03-3482-9085
- 学 生 課 : 03-3482-9081

救急車を呼ぼうかどうか判断に迷ったとき

緊急の場合はここへ

1 成城消防署 救急病院案内 [24時間対応]

03-3416-0119

係員による救急病院案内サービス

2 東京消防庁 救急相談センター [24時間対応]

救急車を呼んだほうがよいか迷った場合は救急相談センターへ。医療機関の案内や、応急手当のアドバイス等を行っています。

携帯電話、PHS、プッシュ回線から

短縮番号 #7119

ダイヤル回線から

23区 : 03-3212-2323
多摩地区 : 042-521-2323

覚えておきましょう

3 その他の医療機関案内

東京都医療機関案内サービス「ひまわり」

PCから

<https://www.himawari.metro.tokyo.jp/>

携帯電話から

<https://www.himawari.metro.tokyo.jp/kt/>

休日の当番医・当番
歯科医など、都内の
医療機関に関する情
報を掲載しています。



成城大学 緊急災害時避難経路図

